

「日田市認知症支援体制づくりプロジェクト」の活動について



認知症支援プロジェクトチーム(10名) H16.6月
(医師、民生委員、地域包括支援センター、病院作業療法士、市保健師)

認知症支援ワーキングチーム(30名) H16.10月
(自治会、公民館、介護支援専門員、社協、一般市民、市職員など)



普及啓発 (寸劇)

認知症プロジェクトのメンバーと福祉関係者で構成された劇団「あやめ」による寸劇で、認知症や地域での支え合いについての啓発活動を行う。

公民館や各町内等からの公演依頼を受けて活動している。

予防事業 (すずめの学校)

小河内町での「読み、書き、計算」の認知症予防の取り組みから三花公民館での取り組みへと発展。

三花公民館の協力を得て作成した教材を活用しての学習と、軽体操や、お茶を飲みながらのコミュニケーションの時間を盛り込んだ活動をしている。

徘徊者の 早期発見・保護 (ネットワーク構築)

徘徊により行方不明になる認知症の方が増加している現状があることから、認知症の方やその介護者の方が地域で安心して生活できる体制づくりを行う。

介護者支援 (相談窓口開設)

認知症の方を介護している家族や介護者、近所の方などへの相談会を、パトリア日田で行っている。

毎月第2土曜日の午後で開催。
地域包括支援センターの職員や、認知症プロジェクトのメンバーで対応。

認知症早期 発見チェック (セルフチェック表)

認知症を早期に発見するための「セルフチェック表」を活用し、一人ひとりが自分自身の状況を確認し、必要に応じて医療機関や地域包括支援センターへの相談につなげている。

「日田市認知症支援体制づくりプロジェクト」は、医療、福祉、行政、各種団体代表者と、一般公募により賛同してくれた市民の約30名で組織され、認知症についての普及啓発や、認知症の方やその家族が安心して生活できる地域づくりを目指し活動している。





地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市区町村名	日 田 市
②人口（※1）	70,545人 ()
③高齢化率（※1） <small>（65歳以上、75歳以上それぞれについて記載）</small>	65歳以上 29.38% 75歳以上 16.74% ()
④取組の概要	「日田市認知症支援体制づくりプロジェクト」は、医療、福祉、行政、各種団体代表者と、一般公募により賛同してくれた市民の約30名で組織され、認知症についての普及啓発や、認知症の方やその家族が安心して生活できる地域づくりを目指し活動している。
⑤取組の特徴	「普及啓発」「予防事業」「徘徊者の早期発見・保護」「介護者支援」「認知症早期発見」の5つの柱をもとに、4か所の地域包括支援センターを中心とした専門部会を設置し、それぞれの部会メンバーで取り組みを進めている。
⑥開始年度	平成16年度
⑦取組のこれまでの経緯	平成16年6月に医師や民生委員、当時の在宅介護支援センター、保健師等によるプロジェクトメンバーを設置し、同年10月に自治会代表や公民館代表、公募による一般市民等でのワーキングメンバーを選考し、合同での取り組みを進めてきた。その後、地域包括支援センターを中心とした専門部会を設置し取り組みを進めている。
⑧主な利用者と人数	全市民
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	日田市認知症支援体制づくりプロジェクト
⑩市区町村の関与（支援等）（※2）	日田市からの委託料 平成24年度 1,866,000円 平成25年度 1,077,000円
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※3）	な し
⑫取組の課題	4つの専門部会の取り組みにおいて、業務量の差が生じはじめている。現在は、各地域包括支援センターが主となり担当の専門部活動を行っているが、今後は、各包括支援センター圏域毎に全ての専門部活動の取り組みをする必要性を検討している。
⑬今後の取組予定	認知症支援対策についての先進地視察を行い、認知症者の早期発見・保護の支援を強化していく。また、その他の専門部においても、例年どおりの取り組みを進める。
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	日田市福祉保健部長寿福祉課長寿福祉係 ☎0973-22-8299（直通）

※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。

※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。

